

町の魅力個性豊かに

階上

階上町内を中心とした会場で、八戸工業大創生デザイン学科の学生有志らが作品を制作し、展示するプロジェクト「つくるはしかみ」が開かれている。同町の日常の魅力や人々の生活を切り取り、学生が感じたことを写真やイラスト、立体作品などで個性豊かに表現した。展示は8日まで。

(田中周菜)

八工大生ら制作

プロジェクトは同学科皆川研究室の学生による「つくるはしかみ実行委員会」が主催。大学キャンパスが同町に近く、町内で下宿する学生もいることから、地域の魅力を引き出し、発信しようとして7月に始動した。

道の駅などで展示

学生20人と青森県内外のアーティストら4人が参加し、町内を巡って見聞きしたことや、感じたことを基にそれぞれの作品を仕上げた。道の駅はしかみの店内には、町内の風景をさまざまな時間帯で撮影した写真や、

道の駅の日常を描いたイラストなどが並ぶ。

「わっせ交流センター」で、たくさんのミニチュア傘をつけた作品を展示している同学科3年の沓澤希実佳さん(21)は「傘の裏表で柄を変えている。上下から眺めて楽しんでほしい」と話した。

展示会場は、道の駅や同センターの他、ふるさと河川公園、はしかみハマの駅あいでい、旧海産物養殖場(追越漁港そば)、八戸市の南部会館(7日から)、八戸工業大など。時間は午前10時〜午後4時。会場により、休みや時間短縮がある。

写真やイラスト、立体作品で表現



わっせ交流センターに展示する小さな傘が並んだ作品と、「つくるはしかみ」プロジェクトに参加している学生たち



道の駅はしかみの店内を彩っている風景写真の作品